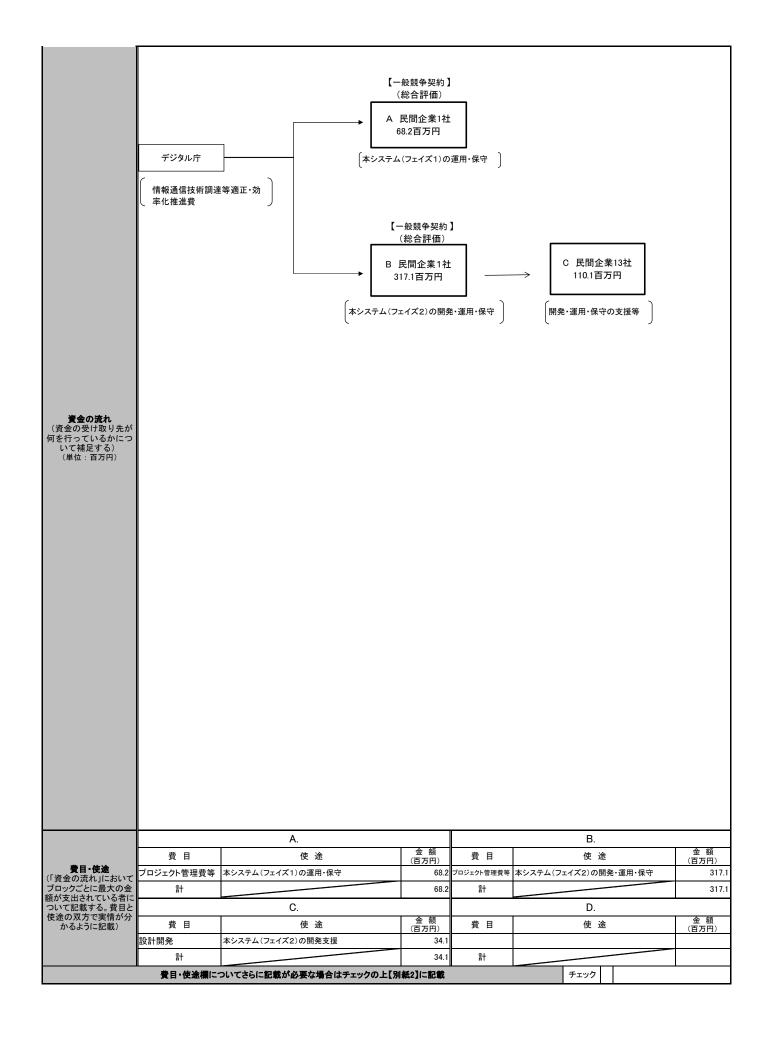
事業番号 2023 - デジ - 22 - 0001 - 33

				尹未留万	2023 -		- 0001 - 33			
		令和5年月	隻行政事業レビニ	ューシート	(デジタ	<u>'ル庁)</u>			
事業名	Visit Japan Web			担当部局庁	国民向けサービスク	「ループ	作成責任者			
事業開始年度	令和3年	·度 事業終 (予定)4	了 終了予定	なし 担当課室	Visit Japan Web 担		シニアエキスパート 住田 智子			
<u>会計区分</u>	一般会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	関係する									
政策	情報通信技術等	の適正・効率化に関する	施策の推進							
施策	情報システムの	整備		<u>主要経費</u>		その他の事項経費				
政策体系·評価書URL	https://www.dig	ital.go.jp/policies/assessn	nent/							
事業の目的 (5行程度以内)	日本への入国等に係る一連の手続(検疫、入国審査、税関)について、水際対策の効率的な実施と利用者の利便性向上を図る観点から、スマートフォン等の利用を通じたデジタル 化を進めるとともに、入国手続以外においても活用することで、更なる利便性向上を図るもの。									
現状・課題 (5行程度以内)	日本への入国に係る一連の手続は、入国者の利便性の更なる向上とともに各業務全般の効率化の実現が喫緊の課題となっている。訪日外国人旅行者等の入国者の増加が見込ま れる中、Visit Japan Webの安定的な運用等を担保するために体制整備も含め必要な対応を行うとともに、関係省庁と緊密に連携しながら、必要な機能拡充を迅速に実現していく必 要がある。									
李棠概要 (5行程度以内)	本事業は、日本への入国等に係る一連の手続(検疫、入国審査、税関)について、水際対策の効率的な実施と利用者の利便性の更なる向上を図る観点から、令和3年12月に運用を開始した。令和4年度中にeVISAとの連携等の追加機能のリリースを実施するとともに、令和5年4月からは入国手続のみならず日本国内滞在時に消費税免税購入手続きにおいても利用することができるよう必要な機能拡充を実施した。令和5年度及び令和6年度は引き続き本事業の運用を継続していくとともに、関係省庁とも連携しながら必要な機能拡充を実現していく。									
事業概要URL	_									
<u>実施方法</u>	委託•請負									
補助率等	-									
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求			
		当初予算(A)	-	-	-	-	-			
		補正予算(B)	-	_	-	_				
						_				
						_				
						_				
	予算の					_				
予算額・	状況					_				
執行額 (単位:百万円)	前	 年度から繰越し(C)				_				
(インプット)		翌年度へ繰越し(D)	_	_	_	_				
	-	予備費等(E)	_	_	_	_				
		計(F)								
	=(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	-	-	-			
	#	執行額(G)	-	59	385					
		4行率(%) =(G)/(F)	-	_	-					
		E予算に対する執行額の 割合(%)	-	-	-					
		a)/ {(A)+(B)} 出予算項・目	令和5年度当初予算	令和6年度要求	主力	は増減理由(・要望額・	予備費)			
令和5·6年度 予算内訳				, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		_				
(単位:百万円)		計(A)	-	-		_				

注	「動内容① クティビティ)	訪日外国人等が、日本への入国の際に <i>)</i>	N国手続において利用できるWe	bサービス [:]	を提供する	5.					
	\downarrow										
活動日	擦及び活動実績	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
(アウトプット)		CIQ手続(検疫・入国審査・税関)における水際対策の効率的な実施と利用者の	_	活動実績	-	-	-	-	-	-	
		利便性の更なる向上を図る		当初見込み	-	_	-	-	-	-	
1	成果目標(①-1の 数定理由 (アウトブット からのつながり)	1 ┃ 									
		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標	票年度 	
成果目	課及び成果実績 ①-1		本システムが利用可能な時間	成果実績	%	_	100	100		年度 -	
(短其	リアウトカム)	稼働率99.9%以上	の比率を稼働率として規定 し、予定稼働時間に対する実	目標値	%	-	99.9	99.9		-	
			稼働時間の達成度合いを評 価する。	達成度	%	-	100.1	100.1		-	
	なアウトカムに - る成果実績 成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	割合から登録率を算出し評価をすることと本目標は、長期アウトカムで設定している									
成果目	標及び成果実績	成果目標	定量的な成果指標	## D/#	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標	年度年度	
(中)	①-2 関アウトカム)	_		成果実績 目標値							
				達成度	%	_	_	_		_	
根拠 統計・ /定性的	横及び目標値のとして用いたデータ名(出典) ウスアウトカムに でる成果実績 成果目標準 3の 散定型中 ののつながり)	- 今後、訪日外国人等の増加が見込まれる	5中、本サービスの安定的な運	用を図ってし	べとともに	こ、本サービス・	の利便性の向	上を図っていく	(必要がある。		
		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最	と終年度 年度	
	課及び成果実績 ①-3		本システムが利用可能な時間の比率を稼働率として規定	成果実績	%	-	100	100		-	
(長期アウトカム)		稼働率99.9%以上	し、予定稼働時間に対する実 稼働時間の達成度合いを評価する。	目標値	%	-	99.9	99.9		-	
				達成度	%	-	100.1	100.1		_	
根拠 統計・ /定性的	臓及び目標値の として用いた データ名(出典) なアウトカムに る成果実績	また、フェイズ2稼働以降、本システムの	ステムの稼働状況は、システムに障害等が発生すれば、即時に運用事業者から報告があり、本システム稼働後以降、目標値を達成している。た、フェイズ2稼働以降、本システムの登録率を30%以上保つことも目標としている。入国者数(統計データ(estat))と本システムの入国帰国の予定の登録者の合から登録率を算出し評価をすることとしている。令和4年度におけるフェイズ2の登録率は、91.6%となっている。								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由 -									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									

古世に明治ナス	名称	-										
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	URL	-										
	該当箇所	-										
		事業所管部局による点検・改善										
点検結果			目標年度における効果測定に関する評価(令和〇年度実施)									
		予算執行の実施に当たり、一般競争入札(総合評価)により、調達の透明性・公平性を確保 し、適正・効率的な予算執行に努めた。										
		 稼働率100%を維持することができており安定期な運用の確保ができている。また登録率につ	-									
		いても高い登録率となっており、検疫の水際対策によるものと考えられる。										
改善の 方向性		システム経費について、引き続き精査を行い効率化を実施する。										
7) PI E		外部有識者の所見										
点検対象外												
		行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及 	とび所見									
現状通り	J	事業の有効性・効率性・成果について、適切かつ的確に検証し、効率的執行に努めるべき。										
		所見を踏まえた改善点/概算要求における反映 										
現状通り)	引き続き、事業の有効性・効率性・成果について適切かつ的確に検証し、効率的執行に努め	ర ం									
		公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)にま	ける取りまとめ									
		-										
		L. T. A.										
		上記への対応状況										
過去に受けた指	摘事項	<u> </u>										
と対応状況		え の他の物質で										
		その他の指摘事項										
		上記への対応状況										
		上限への対応も次										
		備考										
		関連する過去のレビューシートの事業番号										
平成23年度	I											
平成24年度												
平成25年度												
平成26年度												
平成27年度												
平成28年度												
平成29年度												
平成30年度												
令和元年度	-											
令和2年度 会和3年度	<u> </u>	_	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,									
令和3年度 ————— 令和4年度	2022	デジ 21 0001 20	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +									
口们中一尺	2022	デジ 21 0001 20										



支出先上位10者リスト

Α

	支 出 先	法 人 番 号	業務概要	支 出 額(百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	ー者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)		
1	BIPROGY株式会社	2010601029542	本システム(フェイズ1)の運 用・保守	68.2	一般競争契約 (総合評価)	1	1			
В	В									
	支 出 先	法人番号	業務概要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)		
1	日本電気株式会社	7010401022916	本システム(フェイズ2)の開発・運用・保守	317.1	一般競争契約 (総合評価)	3	68.1%			
С										
	支 出 先	法人番号	業務概要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	ー者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)		
1	株式会社オーク	1020001069057	本システム(フェイズ2)の開 発支援	34.1						
2	NECソリューションイノベータ 株式会社	7010601022674	本システム(フェイズ2)の開 発支援	32.5						
3	株式会社ヒューマンシステム	3010401025303	本システム(フェイズ2)の開 発支援	15.8						
4	株式会社SHIFT	8010401073462	本システム(フェイズ2)の運 用・保守支援	7.9						
5	株式会社キャリアビート	2350001014474	本システム(フェイズ2)の開 発支援	5.3						
6	株式会社ベレシート	1011001056137	本システム(フェイズ2)の開 発支援	4.2						
	NECネッツエスアイ株式会社	6010001135680	本システム(フェイズ2)の運 用支援	2.9						
8	アイエックス・ナレッジ株式会 社	5010401047403	本システム(フェイズ2)の開 発支援	2.3						
9	株式会社フォレステック	9430001028781	本システム(フェイズ2)の開 発支援	2						
10	ランゲージワン株式会社	6011001104840	本システム(フェイズ2)の運 用支援	1.4						
	支出先上位1		チェック							